

Future Bright (703 HK)

マカオ / ホテル&エンターテイメント / 企業レポート

力強い成長ストーリー：次なる手がかり材料は横琴

- 第4四半期の業績はほぼ当社の予想通り
- Zhuhai(珠海) Huafa Mall プロジェクトが14年上半期に立ち上がる
- 長期的な手がかり材料となる横琴での食品プラザの開設を提案
- 2015年から始まる高成長に向けた準備が整いつつある

2014年2月24日



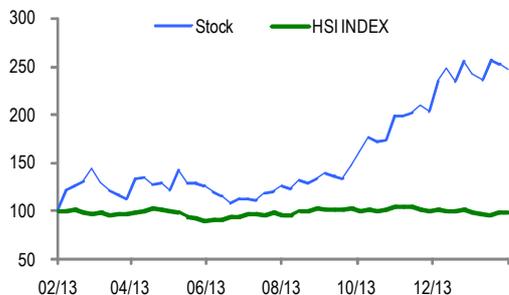
予想の修正 (%)

12月31日決算	13年度 予想	14年度 予想	15年度 予想
売上高の変更	2.9	0.7	0.5
純利益(一時項目を除く)の変更	(0.6)	(5.1)	(5.4)
EPS(一時項目を除く)の変更	(0.6)	(5.1)	(5.4)

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	5.3 / 1.858HKドル
30日間の1日平均出来高	4.04 Mn
発行済み株式数	628.90 Mn
時価総額	2,886.66 Mn
主要株主	Chan Chak Mo&Asso(45.42%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	2012 年度 実績	2013 年度 予想	2014 年度 予想	2015 年度 予想
売上高 (100万 HKドル)	646	746	829	1,127
伸び率 (%)	18.2	15.5	11.0	35.9
純利益(一時項目を除く) (100万 HKドル)	104	145	161	223
伸び率 (%)	30.3	39.3	11.0	39.0
EPS (一時項目を除く) (HKドル)	0.18	0.23	0.25	0.35
伸び率 (%)	28.7	24.3	10.8	38.5
PER (x)	24.8	20.0	18.0	13.0
PBR (x)	4.8	3.2	2.3	1.7
イールド (%)	1.3	1.0	1.1	1.5

出典: 会社データ、京華山一予想

最新情報

第4四半期の業績はほぼ当社の予想通り Future Bright (FB)は、2014年2月20日に13年度第4四半期の業績を発表した。売上高は前年比23.9%増の2億460万HKドルになり、その結果として年間売上高は当社の予想を2.9%上回る7億4,650万HKドルになった。年間粗利益は前年比14.6%増の2億7,180万HKドルで当社の予想通りだった。粗利益率は36.4%だった。

投資不動産に1億560万HKドルのフェアバリュー益が発生 2014年1月13日に、FBは投資不動産について月額基本賃料240万HKドルで5年間の賃貸契約を結んだ。これにより、賃貸料収入は104.3%増える。一方、第4四半期のアップデートによれば、投資不動産のフェアバリューが26.4%増加したことから、1億560万HKドルのフェアバリュー益が発生した。

Zhuhai Huafa Mall プロジェクトならびに食品土産事業が14年度上半期に立ち上がる FBは現在、Zhuhai(珠海) Huafa Mallで3つのレストランと1つのフードコートの開設作業を進めている。食品土産事業については、投資不動産内の旗艦店(2,390平方フィート)は改装中であり、Rua do Cunhaのもう一つの店舗(1,300平方フィート)は3年間の賃貸契約を結んでいる。Zhuhai Huafa Mallプロジェクトと食品土産事業は共に14年度第2四半期に立ち上がる見込みである。

Hengqin(横琴)でのフードプラザの開設を提案 FBは澳門貿易投資促進局(Macau Trade and Investment Promotion Institute)に広さ14万㎡のHengqing(横琴島)特別経済ゾーンの“広東澳門共同工業団地(Guangdong-Macao Co-operation Industrial Park)”でのフードプラザの建設計画に関する提案を行った。

当社の見方

2015年から始まる高成長に向けた準備が整いつつある FBには中・長期的な成長を支える手がかり材料が5つある。(1)14年上半期に立ち上がる食品土産事業、(2)14年上半期に立ち上がるZhuhai Huafa Mallプロジェクト、(3)2015年以降のコタイでの5つ星リゾートの完成、(4)2015年の産業ケータリング事業のための食品加工センターの完成、(5)2018年以降の横琴での食品プラザ開設の可能性。Zhuhai Huafa Mallプロジェクトと食品土産事業は共に14年上半期に立ち上がる見込みであるが、当社は2015年までは業績への実質的な寄与はないと予想している。事業が初期段階にあることから、直接営業費用ならびに設備投資(CAPEX)は増加し、14年度の業績を圧迫する見込みである。しかし、当社はFBの中・長期的な成長に対する強気の見方を変えておらず、2015年度から高成長期入りすると予想している。

免責事項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィック・グループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。